

志賀原子力発電所 1 号機 定期検査中の保守情報

(復水器内の配管とさや管との溶接部のひびについて)

1. 事象の概要

第 8 回定期検査において、タービン建屋内にある復水器の内部を点検していたところ、平成 15 年 6 月 12 日、原子炉給水ポンプ (A) の戻り配管*とこれを包むさや管 (厚さ約 8 mm) との溶接部 (さや管側) に長さ約 13 cm、深さ約 8 mm のひびを確認しました。

この溶接部は安全上重要な箇所ではありません。

なお本点検作業は、定期検査の中で通常実施している保守作業です。

* 給水ポンプの戻り配管

原子炉の起動・停止時などに、原子炉給水ポンプの運転に必要な最少の流量を確保するために設けたポンプ出口から分岐し復水器へ戻る配管。

今回のひびは、復水器内にあり、仮に貫通しても水が外部へ漏えいすることはありません。

2. 原因・対策

(1) 原因

当該部は、原子炉給水ポンプの戻り配管に流れる最少流量運転時に、配管内の圧力変化が大きい場所となるため、ひびは流体 (水) による振動が原因と推定されます。

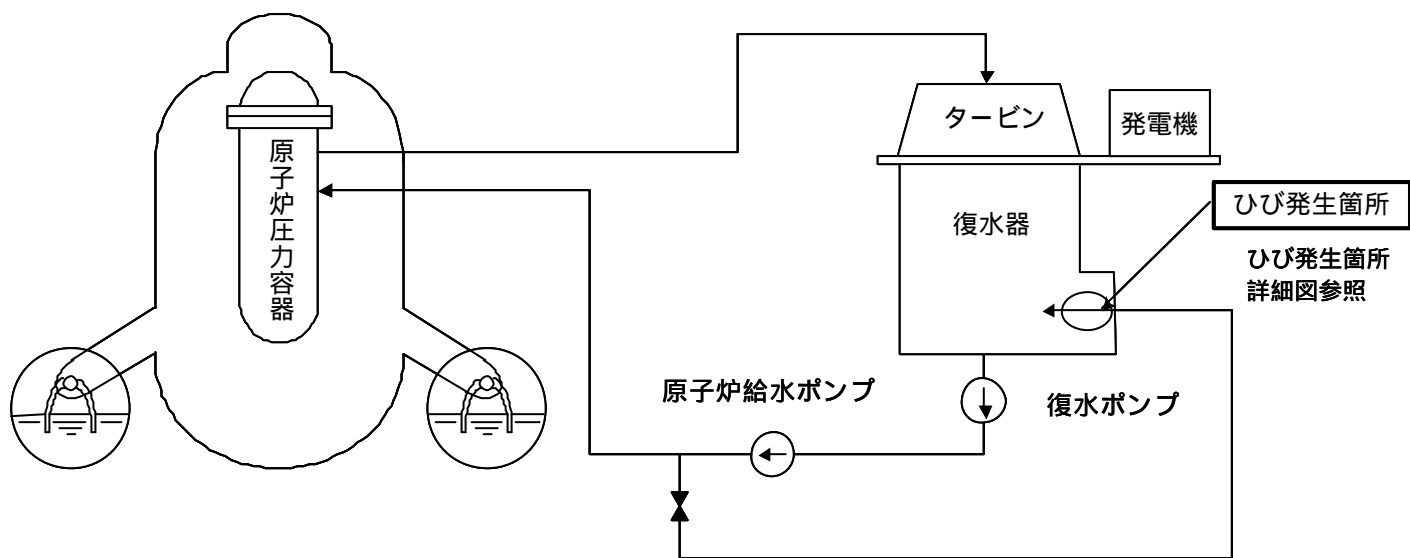
(2) 対策

溶接部のひびを削り取るなど適切に修理を行います。

3. 連絡・公表

本事象は法律、通達および安全協定に基づく報告対象に該当しない軽微な事象ですが、より一層情報公開を推進する観点から、保守情報としてお知らせするものです。

原子炉給水ポンプ戻り配管系統図



原子炉給水ポンプの戻り配管

復水器内の配管とさや管との溶接部 ひび発生箇所詳細図

